

コルモッキル 韓国

温泉ドラゴン 日本

birth

母ちゃん…俺が生まれたときさ…嬉しかった？



作・演出：パク・グニョン
出 演：キム・ジュホン、ユン・ジェムン、コ・スヒ、チョン・ヒジョン
チョン・セラ、キム・ナムジン、パク・ジェチヨル
スタッフ：舞台監督／キム・ドギユン
音響／シン・ジウン
プロデューサー／イ・ホヨル

現代社会を赤裸々に描写したブラックコメディ
偽善を嘲弄する機知に富んだセリフ
『ねずみ』は、パク・グニョン作・演出のブラックコメディである。人が人を食う。複雑な意味が潜んでいる。自分だけが生き残るために狂って行く人間。いけにえを捜し求める人間と偽善に溢れている世の中に対する怒りと憎悪の表現でもあるだろう。
聯合ニュース 劇評より

人間でありながらも、時には人間らしくない人間模様…
人間なのに人間的でない人間群像…
人間の本質から遠ざかっていく我々自らの判断にゆだねる。

—人を殺めるにも
順序と方法があるんだよ!—

あらすじ

水害で疲弊し、ねずみ達が猛威をふるう都市、その片隅の一部屋で私設放送を営みながら辛うじて生きる一家の物語。彼ら家族には配慮と礼儀、誠実さ、信頼と希望が満ち溢れている。しかし劇の中盤に至り、彼らが人を捕らえて食べながら生きている人間であることが明らかになる。殺戮と食人はあまりにも日常的にハッピーに行われる。



コルモッキル主宰・パク・グニョン プロフィール

1963年8月11日、ソウル生。劇作家・演出家。
劇団コルモッキル代表。韓国芸術総合学校 教授。
1985年、劇団76団に俳優として入団、その後演出家に転向。
2001年、劇団コルモッキルを旗揚げ。以来、韓国を代表する劇作家・演出家として劇団内外にて幅広く活躍。
代表作に、「鼠」「青春礼賛」「代代孫孫」「ギョンスク、ギョンスクの父」「青森の雨」「そんなに驚くな」など。



作・演出：シライケイタ
出 演：筑波竜一 いわいのふ健 白井圭太 阪本篤
スタッフ：音響／益川幸子 美術／倉藏
スチール・映像協力／佐々木想
協 力：株式会社ヘリンボーン 企画集団DOA エビス大黒舎



成功するとか、失敗するとか、売れるとか、売れないとか…まあ色々あるこの世界。
演劇で世界は動かないし、戦争もなくならない、人の役にも立たない……しかも金にもならない。
まして自らがプロデュースして作品を立ち上げる事はかなり大変な事である。
何が奴等を動かすのか？
咲かない華はない。しかし、華は必ず散る。
でもひたすらに前に突き進む『温泉ドラゴン』。
奴等を観ていると、酒を呑みながら自分もその答えと一緒に見つけたくなる。
『温泉ドラゴン』は大事な仲間であり、大好きな奴等だ。
千葉哲也(俳優)

温泉ドラゴンプロフィール

筑波竜一と阪本篤によって、2010年結成。俳優としても活躍するシライケイタ(俳優名は白井圭太)を作家に迎え、2010年4月、処女戯曲、「escape」(2010年4月、space雑遊)で旗揚げ。東京を中心に骨太な芝居創りで活動を続ける。
温泉ドラゴンwebsite <http://onsendragon.main.jp/>



あらすじ

東京の裏町で刹那的に生きるダイゴとマモル。そんなふたりの前に古くからの仲間である ユウジがあらわれ、「オレオレ詐欺」を持ちかける。「俺だよ。俺。」…浅はかな誘いにのり、ダイゴがかけた電話はしかし、つながるはずのない過去につながっていた。

